

「第11回 全国高等学校ビジネスアイデア甲子園」 審査員特別賞受賞作品 長野県塩尻志学館高校 中沢可南子さん「女性限定宅配サービス」が市民タイムスと信濃毎日新聞（共に2012年12月22日付）に掲載されました。

2013/01/28

「第11回 全国高等学校ビジネスアイデア甲子園」

審査員特別賞受賞作品

長野県塩尻志学館高等学校 中沢可南子さん「女性限定宅配サービス」が
市民タイムス（2012年12月22日付）と信濃毎日新聞（2012年12月22日付）に掲載されました

↓【市民タイムス掲載記事より】

全国高校ビジネス甲子園

中沢可南子さん(志学館) 特別賞

女性限定の
宅配提案



女性限定宅配サービスのアイデアで審査員特別賞を受けた中沢さん

塩尻志学館高校総合 国高校ビジネスアイデア による女性限定宅配サービス
学科の3年生・中沢可南子(志学館)が、第11回全催で、女性配達員に
184校から7294点が寄せられた中から最終審査の6点に選ばれ、このほ
ど大阪府の大阪商業大学でプレゼンテーションを行い、高い評価を
審査員特別賞を受けた中沢さん

を受けた。ビジネス系列の文書デザインの授業で、2カ月をかけて初めて企画書を作成した。宅配員を装う犯罪が起きていたことから、女性が配達することで安心を売りにするサービスを考えた。女性配達員の募集や事業のPR方法も含めたシステムを分かりやすく図式化し、収支計算もして30%の利益率を確保できると

提案した。

授業を受けた19人が応募した。中沢さんは「プレゼンテーションは5分間で説明する工夫が大変で、初めての経験で緊張して声が震えた」と話すが、グラプリ、準グランプリに次ぐ審査員特別賞となった。

指導した千村泰浩教

(柳 純一)

論は「これからは資格

を取得するだけでは駄目。自分で考えて仕事をつくれるようにならない」と語る。卒業後はビジネス関係の大学進学を志望する中沢さんも「企画のひらめきで会社に貢献できるようにになりたい」と意欲を話した。